

連合長崎：結成20周年！！

すべての働く者の待遇改善と核兵器廃絶・平和活動の強化を！

連合長崎
小石会長連合本部
寺田局長長崎労働局
黒田局長長崎県
中村知事民主党長崎県連
川越常任顧問社民党長崎県連
吉村代表

連合長崎は2010年5月24日結成20年を迎えた。

1990年5月24日連合長崎結成の地、南山手の全日空グラバービルホテル（旧東急ホテル）で記念式典及びレセプションを開催し、これまでの運動の歴史を振り返ると共に、結成からこれまで、ご尽力いただいた諸先輩方のご苦勞に対する感謝と立ちはだかる諸課題に対し、全構成組織5万人の総力を結集して連合運動の強化・発展を確認する記念の催しとなりました。

記念式典には、行政や経営者協会、政党、歴代役員などの関係者、構成組織代表者など130人が出席され、主催者を代表して、小石会長から、結成当時の情勢などを含めた経過、また結成にご尽力いただいた諸先輩方に対する謝意などを含め挨拶がありました。特に「すべての働く者の待遇改善と核兵器廃絶を含めた平和行動の強化を更に推進したい。」と今後の運動への決意が述べられました。引き続き、来賓の連合本部寺田総合組織局局长、黒田長崎労働局長、中村長崎県知事、川越民主党長崎県連常任顧問、吉村社民党長崎県連代表が連合長崎20周年に対するの祝辞を述べたあと、特別功勞者13人、功勞者19人、永年勤続2人の功勞者表彰を行い、その後、表彰者を代表して、高石

全労済理事長（前会長）が謝辞を述べ、中崎副会長の閉会あいさつで式典を終了しました。

引き続き行われたレセプションでは、記念式典参加者も含め190人が出席し、小石会長のあいさつ、相馬長崎県経営者協会会長、犬塚直史参議院議員が国会議員を代表して来賓祝辞、連合本部古賀会長からのメッセージ披露が行われました。鏡開きのあと、明石副会長の乾杯の音頭で、レセプションが華やかに開会されました。

参加の功勞者・諸先輩方は当時の話で盛り上がり、あちらこちらで笑いの花が咲いていました。また、アトラクションでは妖艶な二胡演奏が披露され、会場の雰囲気をもっと盛り上げました。

和やかな雰囲気でのレセプションも所定の時間が迫り、前長退連廣川会長と小石会長が両脇を囲む中、長退連川村会長の万歳三唱が行われ、田端副会長の元氣一杯の閉会のあいさつでレセプションを終了いたしました。

記念式典・レセプションご参加・ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

継続の20年 希望の未来へ 確かな歩み



相馬長崎県経営者協会会長

犬塚直史参議院議員



「ライフサポートセンター長崎」開所!

(勤労者総合生活支援センター)

「長崎県ライフサポートセンター」の設立及び
「ライフサポートセンター長崎」の開所式



「ライフサポートセンター長崎」の開所式が5月21日(金)長崎県勤労福祉会館で行われました。

開所式には、設置主体である県労福協・連合長崎・ろうきん・全労済・生協連を始めとする関係者及び友好議員・法律事務所・司法書士事務所の方々、来賓として労働局・長崎県・長崎市の行政関係者の出席をいただきました。



長崎県においては、2008年に開設された佐世保市に続き2ヶ所目の開設となり、労働相談・暮らしの相談・行政相談・社会保障・法律相談・生活相談など、どなたでも相談できる総合支援センターです。

組合員は労組書記局での相談体制が整っていますし、連合長崎でも今までどおり、どなたに対しても「何でも労働相談」は行っています。全ての人に対しての「労働・暮らしの相談ダイヤル」として、より生活に密着した相談体制が整いましたので、身近な方でお困りの方がいらしたらお知らせください。

5月24日(月)から正式に業務をスタートしています。三丸相談員が親切丁寧に相談に対応します。



相談員の三丸です。
皆様お気軽に
お電話ください。

「労働・暮らしの相談ダイヤル」

☎0120-232426

受付は平日午前10時から午後5時まで

構成組織・全組合員の一致結束が勝利の方程式

5月15日（土）長崎県勤労福祉会館において、「いぬづか直史」第1回長崎県拡大総合選対会議が開催されました。

県内12地区選対との最初の実質協議の場として開催され、長崎選挙区情勢・展望・基本戦略などが提起されました。12地区選対における極め細やかな対策や、公示日前までの活動計画が了承され、全員一致団結して「いぬづか必勝」を勝ち取ることを確認しました。

今後、それぞれの地区選対において地区情勢にあった戦術をとり活動を強化していきます。構成組織・地協においても、地区選対と一体となった取り組みを強化していきましょう。



九ブロック政策実現集会に参加して

5月14日（金）九州ブロックの地協事務局長会議・政策実現集会が開催され、「古賀連合会長」と話す機会を得ました。九州内の地協事務局長が多数参加されていて、このときとばかりに聞きにくい質問も数多く出されましたが、連合としての基本認識の中で、しっかり応えられていました。

講演内容は多岐にわたるので、古賀会長の印象に残った言葉を紹介します。（森田）

- ①「すべての働くものための社会実現」が組合・連合の目標であり、それを実現させるために政党を支援し、選挙協力を行う。
- ②今、新しい社会づくりが始まった。変化には時間がかかる。流れを止めるな。今の政権を長い目で見なければならない。
- ③連合の政策を地方連合会推薦の国会議員にも十分に浸透させよう。
- ④社会保障（年金・医療・介護）ーセーフティネットの確立が急務
- ⑤労働（産別の利害を超えて）のみに陥ることなく社会全体を見渡した連合政策実現に取り組もう。



アジア・アフリカ支援米「カンボジア」に到着

3月10日に長崎を出発したアジア・アフリカ支援米がプノンペンに到着。贈呈式が行われたとの連絡がありました。

本年も田植えの準備を進められている地協が多数あると思いますが、連合長崎ボランティア活動の推進にますますのご協力をお願いします。



ストップ温暖化! ノーマイカーデーの推進にご協力を!!